

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

世界的視野に立ち、伝統と革新を融合させ、日の丸船用エンジンをお客様とともに育て、次代を拓く

売上高
29,120百万円

経常利益
5,850百万円

当期純利益
4,340百万円

② 中長期の経営戦略

1. 環境対応への取り組み深化

アンモニア・水素燃料エンジンの開発・製造・社会実装を推進。2026年3月期にアンモニア初号機、2027年3月期に水素初号機の完成を予定

3. 企業価値の持続的向上

成長投資の継続実行、資本コスト・株価を意識した経営、サステナビリティ経営深化、人的資本投資を推進

2. UEエンジン世界シェア拡大

中国を主軸にグローバル展開を強化。ロイヤリティー収入・部品供給・アフターサービス事業を伸長

4. 新工場建設と生産拡大

2029年3月期の新工場完成・稼働開始を予定。主機関の生産・販売台数の続伸を見通し

③ 対処すべき課題

① 次世代脱炭素燃料エンジン開発

- ・アンモニア・水素燃料エンジンの初号機実証運転。工場生産ラインの一部をアンモニア燃料エンジン初号機に割当
- ・グリーンイノベーション基金事業による研究開発費の大幅増加と交付金受取による経営への影響
- ・ファーストムーバーとして先行者利益獲得と新市場創造を目指す

② 既存事業の成長維持

- ・新造船市場の好況が継続する中で、既受注案件の生産で工場操業を高位で推移させる
- ・重油燃料エンジンの全方位での製品競争力強化と高品質製品の安定供給
- ・海外ライセンス製エンジンのアフターサービスを新規市場として開拓

③ 経営環境の不確実性への対応

- ・ウクライナ・中東情勢などの地政学リスクや中国景気後退懸念への柔軟な対応
- ・紅海迂回運航による船腹需給の引き締まり傾向への対応

面接で使えるポイント

- ・次世代脱炭素燃料エンジン開発でファーストムーバーを目指し、アンモニア初号機2026年3月期…
- ・グリーンイノベーション基金事業で水素燃料エンジン開発を進め、環境対応と経済性の両立に挑戦
- ・2029年3月期の新工場完成に向けた成長投資を間断なく実行し、世界市場での競争力強化を推進

証券コード 6016

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
大型船舶の推進用ディーゼルエンジンを中核事業とする企業

主力事業・セグメント
・輸送用機器（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）
・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）

営業利益率
－（未開示）

財務健康度
36点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 47.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
702万円

輸送用機器内 35位/82社

平均年齢
41.2歳

輸送用機器内 62位/83社

平均勤続
9.5年

輸送用機器内 77位/83社

女性管理職
－（未開示）

男性育休
88.0%

輸送用機器内 19位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)ジャパンエンジンコーポレーション【6016】：決算情報

